

磐城時報

福島縣石城郡平町新屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘成
印刷 福島縣石城郡平町新屋町十四
發行所 磐城時報社
一部金貳圓一ヶ月金參拾圓
廣告料一行十四字金五拾圓
日刊(日曜、祭日)休刊

「示談なんかしないよ」 早川清久氏の氣焰 早川家御家騒動結審 判決言渡は七月十一日

双葉郡富岡町早川清久氏が自分配當と決したにつきこの程株主の甥である岡田木戸村早川信夫一同に對し
氏の財産約十萬圓は俺が相続する権利があるよ平支部に訴訟を提供した、所謂早川家御家騒動の公判は二十七日平支部で開廷、清久側仁井田、信夫側嶋山兩博士代理人として出廷して結審し、來る七月十一日判決渡がある筈であるが、辯護士の想像では原告清久氏が敗訴するであらうと察せられてゐる、岡田有志は兩者の間に立つて仲裁の勞を執り示談を勧告中であるといふが、清久氏は財産全部を渡せば示談をするが、それでない限り大審院まで行くつもりである、と強硬に頑張つてゐる。

家屋税調査 第二次委員會

石城郡各町村の家屋税調査の第二次委員會は七月一日から四日迄平町各種團體事務所を開くが、縣から岸田主事出席する。

株主に對し 苦衷を訴ふ

石城郡内第一の大炭礦である磐城炭礦では本年上半期決算も無町長は緊縮の折柄かゝる悪風はた。

磐中對安中 庭球試合

磐城中學校對安中學校の庭球試合は延期中の處二十九日磐中校庭で舉行する筈である。

喜多流 素詣大會

事業界の萎縮不振により常盤炭の消費減退し且つ低率な海運運賃を利用して九州、北海道に販路を侵略され去る一月より四月に至る需要は七十八萬六千二百五十八噸で前年同期より十五萬八千五百六十四噸の減少で、鐵道納炭を除いた營業の實行は二割の減少となつてゐる。

壯丁學力調査

平町の壯丁學力調査は七月六日午後一時から平第一小學校で行ふ。

受持教師に對する 中元贈物を禁止

平町では從來中元或は歳末にな徹底的に掃除しなければならぬと學校児童の父兄や下級役場と考へ、先づ役場吏員に對し絶對に受持教師に對し中元贈物を禁止する事になつた。

旅館、料理店、遊廓の 古今未曾有の寂れ方

石城地方は財界不況のため各方宿泊客は一流旅館と言はれてゐるが、新田町の遊廓屋方面では十二流と言はれてゐる旅館は一流の行司で二十本しか玉を賣り、これでは税

第一少年野球 涙ぐましく練習

來る七月二十日郡山市に開催せらるる、縣下五大都市の小學校對抗野球試合は今より非常なる興味を以て見られて居る。平町よりは平第一小學が出場する事になつて居るが、各都府市では何れも郷土の名譽の爲めに非常なる意氣込みで力瘤を入れて居る、されば平第一小學も自校の名譽と重き責任感より、各選手は毎日涙ぐましく練習を勵んで居る。我等は夫等少年兒童の身の上を思ふ時には一物の涙なしに拱手傍觀する事は出来ない、故に慈愛に當り教員も氣が氣でなく自校の名譽と夫等可憐なる選手を想ふて熱心なる指導をなして居るから技量は見違へる程上達したが、又一方郷土愛に燃ゆる地方有志も選手に對し、父兄のみに委せて置くのも氣の毒だと精神的に將又物質的に各父兄は夫々適當なる應援をなすつゝあるが、夫等の聲援と貢獻とは何よりの強味であるから必ずや勝利の榮冠を得るのであらう。

平町會召集

昭和五年特別稅戶數割賦課額決定の平町會は二十九日午後一時召集する。

平町壯丁諸君に望む

諸君は本年徵兵適齡に當り帝國男子の最大名譽たる兵役義務に服するの第一歩として徵兵検査を受けることは極めて光榮のことに屬す、されば此検査を受けるに就ては充分なる注意と努力を以て必ず優秀なる成績を得られんことを望む、即ち先づ第一に身體の健康に注意し、身體各部の異常ならんことを要す、所謂健全なる精神は健全なる身體に宿る、身體の

可憐な少女

上坂上りて十五年の頃を思ふと夢の様に思ひます。私には其の頃慈愛深き両親揃つて居て私にも春の様な日々が毎日々々續け何不自由無く暮らして居た。

石城町村長會 廢物利用品展覽會

石城郡村長會臨時總會は七月五日平町各種團體事務所で開催する廢物利用品展覽會、家庭經濟講習會を併せて開會中である。

した私です、泉が川となり、川が大海に入ると同じく月日も流れて今より七年前にふとした病より父は、母や兄弟妹三人を残して遠水の眠りにつかれたのです、其れ以來と云ふものは虚弱の母の手に依つて育てられ、兄は毎朝新聞配達して家につた、私と母は袋張りして家の暮しに努め、其の頃はまだ小さくても何に役につく親子三人で一家をささぐり居ました、不運は運命の徒らでも言ふでせうか、或朝の出来事、母が臺所で洗物して居る際、突然硝子を破つて小石が母の目にあたり、それがもとで眼病となり、醫院に行つて醫藥の効なく、母は生れもつかぬかたわものとなつてしまひました、母が夫の時でも其の日の、母が夫の時に母にうまれもつかぬかたわになつた家の中は悲惨な境遇に落ちへり、役場よりは督促通知來るやら、商店からはかけ取に來るやら、其の時の自分の心持は自分ながらも言實で言ひ盡す事の出ないと思つて、その時の私は考へた、とて袋張りくらくらして居た、私には其の頃慈愛深き両親揃つて居て私にも春の様な日々が毎日々々續け何不自由無く暮らして居た。

花柳病者の如き是等の病毒に犯さるゝは甚だ嘆すべきことなるも是亦検査前十分療養を盡すに於ては幸ひに此の汚名を雪ぐことを得べきに往々にして心得違をなし更に之を省みざるが如き從來其の例に乏しからず、遂に戒むべきことなり。故に諸君の内「トラホーム」に罹れるものは此際専ら治療を盡して全治を期すべし、及不幸にして花柳病等に罹れるものあるときは寸時も猶豫せずして醫藥を受くべきは勿論絶対に検査開際にて是等傳染性疾患に感染するが如き行為なからんことを期す。

夫婦共謀の泥棒捕はる
石城郡好間村字上好間前科六犯無職鈴木賢治(四一)と同人内縁の妻箱崎カッ(四四)の兩名は十五日午後三時頃兼てから仕事の世界をうけてゐる主家同村字上好間小野良徳方に至り飯を喰つた上良徳の妻サダの隙を窺ひ現金二圓五十錢とサングの髪挿價格三圓五十錢を窃取した事發覺平署に捕はれた。

二十圓を盗む
茨城縣那珂郡八里村生れ當地石城郡内郷村大字宮字鬼塚鈴木清方飯場坑夫鈴木儀三郎(二八)は去る十八日夜同村料理店藤沼義次方座敷から家人の隙を窺つて現金三十餘圓窃取した事發覺二十七日平署に逮捕された。

チブスで隔離
▲平町字新町猪狩寅雄(三九)は腸チブスと判明二十七日隔離された。
▲赤井村字西小川平澤つな(六ツ)は疫病に罹り二十七日隔離された。

常設館便り
▲平町 特別館夏大興行で日活特作大河内傳次郎主演の「續大岡政談」魔像篇第一に松竹現代劇「三善人」は岩田、押本、小林の主演裏に入山、磐城兩炭礦ヘロケーションに来たもの以上二十六日より
▲有聲座 全部マキノ作品で時代劇「風雲児」南光明、河津精三郎主演、現代劇「戀愛病者」秋田、横澤主演に特作「かまいたち」を加へて二十七日より

六月廿八日午後一時より
全 廿九日午前九時より 午後四時迄
◎二日間連続講習 ◎講習無料
みやこ染講習會
會場 平第二小學校講堂
主催 平 婦 人 會
平 女子 青年 團
後援 平 藥 業 會

ラヂウム温灸器
胃腸病の必治法
二貫や三貫らくく 肥る世界的健康法
福島縣平町五丁目二八
志賀齒科醫院
販賣部 福島縣平町白銀町九
産婆 關口悦子

消費節約
品質 家庭染料
本店約 大平や藥店
平町一丁目
電話六四二番

高久病院
醫學士 高久 忠
新瀉醫學士 赤羽 清
藥劑士 佐竹 菊雄
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

三井の浴衣デー
今年好評な品を...うづ高く積んで
皆々様の御来店を待致して居ります
婦人俱樂部浴衣
音曲 ゆかた 陳列
歌集 ゆかた
三井呉服店
平町 電話三八番
七五一番

短期特別興行
當る六月三十日より 三日間
毎日午後五時開場
◎伊關吳服店と
下山竹の子劇
第一回謝恩興行
木戸無料 券をさし上升 聚樂館

醬油と味噌
山崎合名會社
福島縣平町
電話(營業部専用)一〇番
(一般用)二七番
振替東京一九七五五番
上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七二番
振替東京六八三二二番

衛生試驗所
検便一回 金十五錢 其他 牛乳
検尿一回 金二十錢 水 鑛石等
産兒制限相談所 (無料)
平 消毒所 (蒲團一枚 一圓五十錢以上
衣類一枚 三十錢以上)
月やく強流下藥專賣所「京都、西山研究所製」
平町三丁目
宇佐美藥局
電話一六六番

生花商花友
平町字一丁目(電話三三三六番)
八田 與 市

タクシーの御用命は
新しい氣持のよい
昭和タクシーへ
電三四三番

生花教授
家元龍生派池坊
生花、盛花、投入、自然
營業では御座いません趣味で御相手致し度うございます
平町 仲町三 (電話五四二番)
華道教授 天水庵 岡田華悦

初夏...サロンの新装
店内に新緑の氣分を集め、皆様の御期待に添ふ
アイスクリーム (十五錢)
ドウゾ御用命を.....
田町 サロン
電話三五二番
サロンの公休は毎月(第三火曜日)

丹後澤舟遊會
丹後澤鯉養育所
醫學博士 丹波敬三先生製藥指導
醫學博士 豊島豊次郎先生動物試驗
咳止の妙藥 オピール錠
平町一丁目(電話四六二番)
大平屋藥店